

# 妊婦健康診査 公費負担額を増額します

## 妊婦健康診査の補助額を増額！

### 対象

令和2年4月1日以降に妊婦健康診査を受診し、受診日に町内に住民票がある方

### 助成内容

妊婦健康診査14回分

妊婦健康診査費用補助券	今まで	R2.4月～
医療機関専用券(1回目)	9,000円	15,000円
2～14回目	4,000円	5,000円
助成総額	61,000円	80,000円

### 利用方法

医療機関受診時に「妊婦健康診査費用補助券」を提出してください。

### 補助券について

令和2年3月末までに発行された妊婦健康診査費用補助券(増額前の補助金額)をお持ちの方は新しい補助券への差し替えが必要です。

補助券の差し替えは保険健康課窓口で行います。以下の持ち物を持参のうえ、手続きにお越しください。

### 手続きに必要な持ち物

- ①母子健康手帳
- ②現在お使いの妊婦健康診査費用補助券(増額前の補助金額)
- ③産婦健康診査費用補助券

詳しい交付方法は町HPをご確認ください▼



※対象の方には個別に通知します。  
※すでに妊婦健康診査を終了している方は差し替えの必要はありません。

## 妊婦さんの声



まえじま 前島 わかばさん(下島)

### 妊婦健康診査費用補助額の増額を受けて

出産までの間に妊婦健診が何度もあり、育児用品も色々用意しなければならなかったので、経済的負担が軽減されるのはとてもありがたいです。しっかりと妊婦健診を受けて出産に備えたいと思います。

### 妊娠中の生活や体調の変化

お腹が大きくなるにつれて腰痛、動悸、息切れ等を感じ、かがむ動作も大変になってきましたが、そんな時は家族のサポートに助けられています。



妊娠・出産の経済的な負担を軽減し、安心して子どもを産み育てられる環境を整えるために、令和2年4月1日から妊婦健康診査費用の補助額を増額します。

問 保険健康課 ☎84-0327

## 妊婦健康診査を受診しましょう！

妊婦健康診査は、身体測定や血液・血圧・尿などを検査をすることで、妊婦さんや赤ちゃんの健康状態を定期的に確認するために行います。

貧血・妊娠高血圧症候群・妊娠糖尿病などの病気は、お腹の赤ちゃんの発育に影響し、母体の健康を損なうことがあります。妊娠期間中を心身ともに健康に過ごし、無事に出産を迎えるためには、日常生活や環境、栄養など、いろいろなことに気を配る必要があります。

また、病気の有無を調べることだけが妊婦健康診査ではありません。医師や助産師に、妊娠や出産、育児に関する相談をして、妊娠期間中を安心して過ごすこともとても大切です。

妊婦さんとお腹の赤ちゃんの健康を保つために、妊婦健康診査を受診して、より健やかに妊娠期間を過ごしてください。

### 妊娠・出産・子育てに関する相談先

妊娠や出産、子育ての悩みや、分からないことがある時は、妊婦健康診査の機会や母子健康包括支援センター「ひだまり」にご相談ください。

### 町母子健康包括支援センター「ひだまり」

- ◆開設時間  
月～金(祝日を除く)  
午前8時30分から午後5時15分
- ◆場所  
開成町保健センター内  
☎84-0327



## 開成町では どんな野鳥が見られるの?!

問 企画政策課 ☎84-0312

知っていましたか?実は開成町は、野鳥の宝庫なんです。今回はあじさい塾(※)の「野鳥観察教室」に同行し、手軽にバードウォッチングを楽しめるスポットを調査隊が紹介します!

※町では、小・中学生を対象に、豊かな心を育むことを目的として、地域の人材を講師に、様々な体験活動の場を提供する土曜学校「あじさい塾」を開催しています。



### 野鳥を通して、自然や環境を考える

野鳥の観察を通して、鳥が自然の中で生きることや取り巻く自然の移り変わりを感じ、この環境を将来にわたって保つために、私たちが何をすればいいのか感じ取ってもらえれば幸いです。

あじさい塾「野鳥観察教室」講師  
かぎわだ しげる  
鍵和田 滋さん(上島)



### Q1 おすすめの観察スポットはどこですか?

A 開成水辺スポーツ公園周辺です。足場が安全に整備されていて、観察できる野鳥の種類やポイントが豊富です。



### Q2 バードウォッチング初心者でも、野鳥を見つけやすい条件等がありますか?

A おすすめの季節は木の葉が落ち、野鳥が探しやすくなる冬の時期の午前中、天候は日差しがあまり強くない、風が弱い日です。双眼鏡は、あまり倍率が高くないものを使用しましょう。

### Q3 開成町の鳥を選ばしたら何でしょうか?

A 「キジバト」はどうか? 実は私たちの一番身近にいる野鳥です。



### 取材を終えて

野鳥観察が行われた2月下旬、開成水辺スポーツ公園で見たツグミは9月中旬ごろに遠くシベリアから渡ってくる冬鳥です。どんな縁があってこの開成町に降り立ったのでしょうか?暖かくなると再びシベリアへ帰ってしまうそうです。短い間ですが私たちの町を楽しんでください。そして、また会いましょう。

まちづくり情報特派員 石塚 敦

### こんな野鳥がいました

野鳥観察教室当日は、鍵和田先生のおすすめスポットである「開成水辺スポーツ公園周辺」へ。水辺に目をやればオオバンをはじめたくさんの水鳥が気持ちよさそうに泳いでいました。なんとコブハクチョウの姿も。



▲オオバン



▲コブハクチョウ

空にはカワウの群れ、酒匂川には日本で最大のサギであるアオサギの姿を観ることができました。

また、川沿いを歩けばヒュルルと鳴くトビやマガモのカップルの姿などもありました。

町内では常時20種類前後の野鳥を観ることができるそうです。



▲カワウ



▲アオサギ

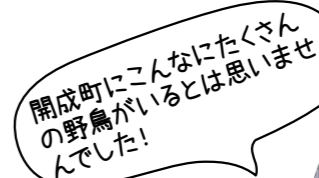


▲トビ



▲マガモ

※野鳥写真提供:鍵和田滋氏



あじさい塾「野鳥観察教室」に参加された親子(金井島) 西山 順子さん 紗英ちゃん 陽太くん



このコーナーでは、町内の気になるあの場所・あの人をまちづくり情報特派員が取材します。気になる情報をお寄せください!